

龍谷大学の 公開講座

RECコミュニティカレッジ

You,
Unlimited



本年は「明治150年」にあたり、明治期の政治や産業、文化、教育などを振り返る様々な催しが、全国で展開されています。本講座では、「明治150年」を島津製作所をはじめとする機械金属業、酒造業、染織業など京都を代表する産業に焦点をあて、行政の施策をはじめ、当時の産業化の実態を具体的に検証していきます。当時の営みが現代の京都の繁栄にどのような影響を与えたのか、現代的視点から京都の産業の近代化を多角的に検証します。

<龍谷大学図書館提携講座> 協力：京都産業学センター



明治150年
京都創生



「明治150年」と京都の産業 -京都産業の歴史を主要産業から振り返る-

11/13

<第1部> 京都産業の「過去・現在・未来」

京都産業の歴史を振り返りながら、現在の京都産業の状況、特徴や今後の展望を語ります。

龍谷大学政策学部教授 白須 正

<第2部> 京都の酒造業の歴史を振り返る

京都の酒造りの歴史を振り返りながら、京都・伏見が清酒の産地として確固たる地位を確立した経緯を述べるとともに、最近の京都・伏見酒の技術的な動向について考察し述べたい。

地方独立行政法人京都市産業技術研究所知恵産業融合センター知恵産業推進課長 廣岡 青央

11/20

京都の産業・企業の150年を考える

長尾文庫資料も活用しながら、金銀箔粉商がルーツのメタルスタイリスト企業、和装産業がルーツの企業、清水焼の技術を磨いた企業、などを通して京都の産業・企業について考えてみたいと思います。

元龍谷大学経営学部教授 山西 万三

11/27

京都の近代化とモノづくりの伝統

(株)島津製作所は、1875(明治8)年に創業しました。創業者の島津源蔵が、京都という土地・環境でどのように、仏具職人から転換し、民間企業として島津を成長させたのかについて、歴史的資料を紹介しながらお話ししたいと思います。

島津製作所創業記念館主任学芸員 川勝 美早子

12/4

京都染織業150年の頂点—京の四大祭・染織祭(昭和6年創設)

戦前、男性装束のみの時代祭に対抗し、女性時代衣装を着た芸妓が行列したのが染織祭です。京の四大祭の一つとされ、三大祭に並ぶ規模で観客を集めました。戦争で中止、市民の記憶から消えました。当時の映像も交え、ご紹介します。

龍谷大学非常勤講師 北野 裕子

11/13~12/4(火)15:00~16:30(全4回)

龍谷大学深草キャンパス 定員40名

受講料(税込) 会員4,920円/一般7,400円

お申し込み・詳細はこちら→

Ryukoku Extension Center

